

7月28日(木)発行

当日の感動を
すぐお届け!!

特別協賛: **TOSHIBA**
Leading Innovation >>>

ほぼ

日刊サマ-ミュージカ

Hobo Nikkan Summer Muza

朝刊



内側から熱くなる心地よい名演

7月27日(水) 東京フィルハーモニー交響楽団「チョン・ミョンフンの情熱」 撮影：青柳聡

東京フィルハーモニー交響楽団とチョン・ミョンフンのコンビネーションを久しぶりに聴く。オール・チャイコフスキーでヴァイオリン協奏曲と交響曲第4番、「真夏のチャイコフスキー」とは、ずいぶん暑そうである。だが熱いようで実は緻密でクールなミョンフンが、東京フィルとの間で生み出すサウンドはそうはならない。余分な力みのない、だが自然に高揚していく音楽作りで、内側から熱くなる心地よい名演だった。

ソリストはクララ=ジュミ・カン。以前はガリガリ弾くお転婆という印象があったが、この日は

しっとり落ち着いた風情。楽器の響きを生かした丁寧な演奏、力まず成熟しつつあるチャイコフスキーを聴かせ喝采を浴びた。アンコールのJ・S・バッハの無伴奏ヴァイオリンソナタ第3番《ラルゴ》がまた秀逸。ミョンフンの采配も光る。わずかな動作で音色やテンポを整え、オーケストラ部分の波を作り、ソロと掛け合いを聴かせ、素晴らしかった。

交響曲第4番で、音楽はさらに深化する。全6曲中屈指の名曲ぶりを描き出す演奏。これを聴けるのも祭りの醍醐味だろうか。ミョンフンの手になる音色やフレージング、呼吸と微かな

音楽の駆け引きは、さすがにオペラのオーケストラならではの《歌》がある。特に第2楽章からの民謡をベースにしたメロディ、細やかに変化していく曲想を、見事な筆で描いていった。そして表情豊かな第3楽章が終わり、第4楽章の冒頭。鮮烈な和声がり、空気ごとひとつの響きに包まれる。

終演後、満員の聴衆からブラボーの声が飛び交う。楽団員たちの喜ばしい表情に、このコンビで良い演奏を聴く喜びを共有できる。幸せな気持ちで帰路につける名場面だった。

伊東雨音(音楽雑誌記者)



指揮：チョン・ミョンフン
ヴァイオリン：
クララ=ジュミ・カン

7/27

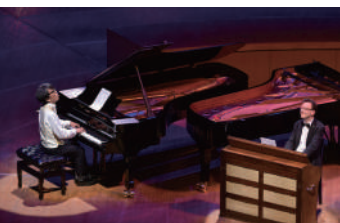
東京フィルハーモニー交響楽団

お客様の声から♪

同じお皿(ホール)でも、食材(オケ)、シェフ(指揮者)そしてメニュー(選曲)で毎回実にいろいろなおいしいお料理を頂けるのがレストラン・サマ-ミュージカの素敵どころだと思う!(会社員・せぶら)ノリハ-サルは、ノビノビした雰囲気の中、でもピリッとした中で楽団員と指揮者の家族的な感じがうかがえました。(70歳・自営業・山さん)ノマエストロの情熱がオーケストラの極上の音になり、ホールの空間を満たす、至福の時でした。(57歳・会社員・UCCY)ノ上質な時間でした。(35歳・会社員・シアン)ノ聴き応えのあるチャイコフスキープログラムでした。(21歳・学生・とす)ノ公開リハ-サル、自由席で席を選べることは素晴らしいと思います。(OL・ちつち犬)ノマエストロの指揮は大きなふりもないのに、Perfectに統率しているのを見てとれた。ものすごい信頼関係。(50歳・会社員・川崎のYoko)ノクララ=ジュミ・カンさん、低音の響きも高音の繊細な音も素敵でした!(54歳・主婦・R.K)

NEXT!! フェスタサマ-ミュージカ

明日はどう聴く? 20代応援団がナビゲート!



左:佐山雅弘 右:ルドルフ・ルッツ

この公演は普段ジャズを聴かないクラシック音楽ファンにこそお薦め! 大好評だった昨年の公演では鬼オルツツの才能が大爆発。彼がジャズスタンダードをクラシック風の様式で演奏すれば、佐山も負けじとバッハをブルージーに演奏。共演ともなれば、クラシックの様式のまま即興したり、気づいたらジャズのスタイルに変化したりと、まるでバッハやモーツァルトが現代に生きていたらこんな演奏をしたんじゃないかと思えるような楽しすぎるコンサートに。これを聴き逃すのはあまりに惜しい!
(小室敬幸 作曲/音楽学)

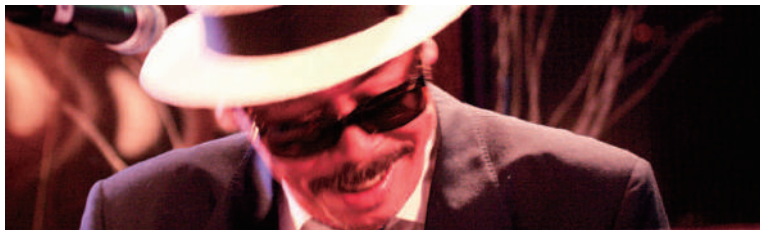
7月29日(金) 19:00 開演
ルドルフ・ルッツ&佐山雅弘
~大好評! サマ-ナイトジャズ・セッションII~

オルガン&ピアノ：
ルドルフ・ルッツ、佐山雅弘

18:15からホール2階ホワイエにて
ジャズバー Sayama 開催!

古い教會的メロディーと 今を感じさせるサウンドの融合

この日限りのスペシャル・ユニットが贈る、
音楽の多様さを楽しむ一夜



コンサートのご案内

MUZAスペシャル・ナイトコンサート90
キング・オブ・オルガン KANKAWA

2016年9月30日(金) 19:00開演

パイプオルガン、ハモンドB-3オルガン: KANKAWA

トランペット: 類家心平 ドラムス: 本田珠也 テナーサクソフォン&フルート: 竹内直

【スペシャルゲスト】 ヴァイオリン: 小森谷 巧 ギター: 小沼ようすけ

ジャズオルガンの神、ジミー・スミスに師事したKANKAWA。伝統的かつエネルギッシュでカリスマ性のあるプレイで、東京の名門ジャズクラブ・ブルーノートや、日本、アメリカ、ヨーロッパのジャズ・フェスティバルの出演を重ねています。

“ミュージアのパイプオルガン”と聞くと、パツパなどクラシックなオルガン音楽をイメージする方が多いでしょう。(明日7/29のルッツ&佐山コンサートも、オルガンの新たな魅力の発掘ですが、)キング・オブ・オルガンKANKAWAが操るオルガンは、未体験の面白さです。オルガンの多彩な音色の中で、ジャズのスタンダードナ

ンバーがあればあれよと変化し、スウィングし、はじめていきます。後半に登場する、彼の代名詞「ハモンドB-3オルガン」も、もちろん聴き逃せません。

KANKAWAが信頼を置くメンバーをはじめ、読響コンサートマスターの小森谷 巧や、ギター界を牽引する小沼ようすけをゲストとして迎える、豪華な90分。ジャズクラブに通い詰めている方はもちろん。行ったことはないけれど、ちょっとディープな世界に触れてみたい、そんなあなたにもおすすめです。各界のスペシャリストたちが生み出すグルーヴ感を心ゆくまでお楽しみください。

(事業課 か)

本日(7/28)
コンサート前
お楽しみ♪

本日の「読売日本交響楽団」公演は「ブレイク」のある公演です。

14:20~14:40

ボブ佐久間 & 前田憲男

コンサート ゴアズへの道

The Road to becoming a Concertgoer

第5回 コンサートはチームワーク

画: 井上孝志
文: ミューザスタッフ

ステキな演奏に思わず身体が動いちゃう!—演奏が始まりました。クラシックだからといって微動だにしていけない!なんてことはありません。時には指揮者から手拍子を求められることも。その際は恥ずかしがらずにたっぷり盛り上げてください。とはいえ、周囲への配慮は必要です。メロディーを歌いだしたり、大きく身体を揺らしたり、あげくは指揮をはじめたり……では、気になって楽しめない方もいるはず。コンサートはチームワークです。演奏者・お客様で一体となって良い公演にいきましょう。



パートナーショップのご紹介
**エンジョイ!
川崎!!**
Enjoy Kawasaki

ラーメン
なんつつ亭

アトレ川崎B1階・パートナーショップP.15

サマーミュージア特典 チケット提示で
一品サービス(100円相当のサービス品)
※詳細はパートナーショップリストをご覧ください

最響の夏!暑い夏にはなんといつても熱いラーメンが一番。そこで今日は、今年からサマーミュージア期間中のパートナーショップ提携店となったラーメンの「なんつつ亭」をご紹介します。

注文したのは、どうしても食べてみたかったチャーシュー麺。カツオだしの効いたスープに程よく絡む細麺、柔らかくジューシーなチャーシューでとても満足な一杯でした。また、チケットを提示すると、海苔

やモヤシなどから一品がサービスされます。

店内は、夏休みということもあり親子連れでいっぱいでしたが、お腹も一杯になりました。

広報営業課 じ



友の会キャンペーン実施中

新規入会でもらえる!

サマーミュージア期間中に友の会入会受付カウンターで入会された方にサマーミュージアオリジナルチケットホルダーをプレゼント!

(~8月11日まで)
年会費3,000円でお得な6つの特典♪

詳しくは友の会入会窓口(ホール歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

**現在会員の方に
“最響の水”が当たる!**

サマーミュージア公演のチケットを事前にご購入の友の会会員様、各公演抽選で20名様に“最響の水”をプレゼント!(当選者の座席番号を当日ロビーに掲示いたします)

当日の感動をすぐお届け!!

毎日
日刊サマーミュージア
Hobo Nikkan Summer Muza

バックナンバーは
ミュージアホームページでも公開中!
<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/>

夏休みに入り、お子さんに「どこか連れて行って」と言われているお父さん、お母さん、もうらつしやさん、おはないでしょか。フェスタのプログラムには4歳から入場可能な「こどもフェスタ」もラインナップされています。7月24日に行われた東京ニューシティ公演では客席で曲に合わせて拍手や合唱の出来るコーナーもあり大盛況でした。8月2日はジュニアオペストラの公演、8月6日はピアノの演奏がステージ上で間近に聴ける「ライツ・ア・ピアノワールド」とお子さんはもちろんご家族3世代で楽しめる公演がまだあります。お子さんがまだホールデビューにもびつたりです。ぜひ皆さんで出掛け下さい。レセプションニスト一同お待ちしております!

レセプションマネージャー

スタ
タ
ッ
フ
日
誌